



*一文字ヨットクラブ40周年記念夏祭り開催：7月23日

・・・クラブの歴史を辿れば・・・40年以上前に・・・西宮港内の一文字棧橋（旧国体棧橋）にヨット愛好者の約60艇の檣付けされたヨット溜まりがあった。

1975年秋に、とある24ftのヨットがチョットとした隙間に割り込んで檣付け係留したのを契機にクラブを立ち上げようとなり、その年の10月、係留艇オーナーを集めて総会を開き、年末に「一文字ヨットクラブ」（仮称）の第一回クラブレースを開催し、親交を深め・・・

1976年初頭、「舵」3月号に投稿して、内外に「一文字ヨットクラブ」発足の公開、そして1977年3月にIYC発足の公開と親睦を目的に「大阪湾クラブ対抗ヨットレース」をホストクラブとして開催、近隣のヨットクラブ（今津YC・鳴尾YC・出島YC・神戸神港M・須磨YC・サントピアM）から31艇のエントリーがあり、強風の中、10艇が完走・・・クラブ優勝はIYC、艇別優勝は春欄漫（DYC）でした！

（舵誌/1977年6月号より）

***あれから40年・・・紆余曲折（主に泊地問題）しながらも健在であり、当時のクラブ員の多くは今も現役でヨットライフを楽しんでいます！

・2016年7月23日、40周年記念夏祭りの様子

15時開場から続々ご来場、招待した三光塾の子供たちを含めると約250人の大盛況になりました！

屋台は15店舗、多くのクラブ員のご支援とご協力により無事に終わりました、ありがとうございました！

夏祭り実行委員会

夏祭りYouTube：<https://youtu.be/RXC80hQh7rg>



トムヤムクンとパエリアの屋台



仮設プールは子供たちの天国！



とびっきりの美女で人気のGirls Bar!



テントでオーニングして暑さ対策!

***今年の社会貢献活動/招待セーリング**

4月17日(日) 豊中市あさひ会

未明から強風波浪警報が発令されていたが、豊中市授産施設あさひ会 27名は3台のミニバスに乗って甲子園ヨットハーバーにやって来ました! IYC側は早々に出航中止を決めて、皆様にハーバーで楽しく過ごしていただけるように、テントを張り、焼き芋などを用意して迎え入れました! どうしてもヨットに乗りたくて云う10人はゆうばれとラムソールに分乗してヨットのデッキでくつろいで頂きました!



5月28日(土) NPO法人トイBOX

(自立支援・不登校支援)の皆様、約28名(小学生~高校生)が、クラブを訪問。学校には、グラウンドがないため、クラブハウス裏の広いスペースも魅力とのこと。セーリングと共に楽しみにされています。



6月19日: 西宮市三光塾

雨の日曜日、でも元気いっぱいの子供たちはクラブにやって来ました、西宮市児童養護施設三光塾一行(園児3名、小学生8名、スタッフ3名)14名様。クラブ員20名で出迎え、子供たちの元気パワーを頂いて、雨の中をチョッとだけ出航しました! ゆうばれ、ウインドミル、に分乗、レスキュー艇が見守ります。帰港後大きなテントの下で全員でランチ.....



子供たちは大満足で帰られました！

7月31日：大阪ボーイスカウト

猛暑のため予定していた20名から13名(Boy6名)に変更になり、IYC側は・・・

ウインドミル、ラムソール、ゆうばれ、サポート艇としてハテナを用意して、クラブ員20名で対応しました。

ほど良い南西風で気持ち良いセーリングでした！

41ft艇が3艇並んで走ります。

後方はサポート艇



*安全委員長より

・現在AEDはクラブにありません。何かの時には近くの甲子園浜野球場にはありますのでそちらに行ってください。

緊急の時使用をお願いしてきました。ただし営業時間内です。3-11月：7-21時、12・1・2月：9-17時

・台風発生が多くなってきました。栈橋の接続部安全確認・舳い・アンカー等今一度点検整備お願いいたします。

*運営委員長より

・6月11-12日

クラブ合同クルージング：洲本港

梅雨入りして天気が安定しない時期としてはまずまずのクルージング日和となりました。

集合場所の洲本港には、10艇ものクラブ艇、40名ほどの方々にお集まり頂きました。

夕方からの懇親会では、たまたま洲本港に停泊中のオーストラリアのヨット DOT号のラリーさん、キャシーさんペアも飛び入り参加となり、夜が更けるまで楽しい懇談が続き、親睦を深めることができました。

翌朝は天気が崩れない内に帰着するため早々の出港となりましたが、久しぶりのクルージングを十分満喫されたのではないかと思います。

クラブ員皆様のご協力、大変ありがとうございました。



・7月30日(土)

帆走練習会とミニ集会&親睦会

週末の帆走練習会はすっきりした夏空のもと9艇のヨットと数多くのクラブ員の皆さんに参加頂きました。

午後1時の艇長会議の後、午後2時スタート。しっかりした南風の中、西宮防波堤を廻航するセ〜リングを堪能して頂けたと思います。



その後、ミニ集会とクラブハウス前での親睦会には約40名の参加者で大いに盛り上がりました。

参加艇(9艇+本部艇マーチ)

ゆうばれ、ウインドミル、コントレール、はてな、Mrs. K、海心、美帆、盾、TOM



一文字ヨットクラブの創立40周年を記念するタンブラーグラスを作製致しました。

創立当時から使用されていたクラブ旗(バージュ)と現在使用されているクラブ旗を上下に並べてデザインしました。

一文字ヨットクラブはこの旗のもとに生まれ、この旗のもとで育ち、この旗のもとに集いました。

今後もこの旗のもとに協力しながら発展して行くことを願っています。

一文字ヨットクラブ正会員の方には1個無料配布を致しておりますが、まだお渡し出来ていない正会員の方は随時ハーバーでお引き取りお願い致します。破損防止等のため発送は致しませんので、直接手渡しにご協力下さい。また、多少の在庫がありますので、複数個をお求めされる方には@400円で販売致します。

艇名等の名入れ加工(ケミカルエッチング@200円)も好評につき、継続してお引き受けさせていただきますので、運営委員長 漆川までお問合せください。

*7月6日尼崎港管理事務所協議の概要(小山、高倍、高橋、兎玉)

- ・水口副所長新任の名刺交換
- ・一貫してIYCの西宮浜北護岸への移動に関する変化はない
- ・数艇の西宮BPへの移動は当初からの尼管の本音であり、今回はパッケージ案の発言があった
- ・浜野元副所長が明言していた、海底障害物の撤去と陸上部のフェンス設置は完了
- ・陸上部からエプロンに上がる障害者用スロープは幅や強度などIYCと調整して実施するとしているが、海に降りる導線として、子供たちや障害者が安全に降りられるような階段の設置をお願いした
- ・新副所長はクラブの社会貢献活動に興味を示していた

・・・・詳細は東西クラブハウスの「広報ファイル集」にファイルしていますので御一読願います。

*6月26日深夜、ブービーⅢ：吉岡博之さんをご逝去されました。

91歳、先日までヨットハーバーに元気なお姿を拝見しましたが、急な心筋梗塞のため、帰らぬ人となりました。謹んで、ご冥福をお祈りします

・・・吉岡さんのプロフィールは2007年会報2月号に記載しています・・・(9年前)

*「ブービーⅢ」(ヤマハスキャンピ MKII) 吉岡博之さん

吉岡さんはIYC会員の最高齢の82歳(大正14年/1925年生)でクラブ創設に貢献され、4～5期の会長も務められました。

現在の所有艇は3代目のヤマハスキャンピ MKII、ブービーはカツオドリの意味です。

戦前の小学校5年生の頃からA級デインギーで西宮の浜でセーリングをされていました。

その後、太平洋戦争で主に戦艦山城などの艦船に海軍主計少尉として従軍されていました。

毎週シングルハンドで元気にセーリングされているお姿には海軍スピリットが漂っています。

いつまでもお元気で我々の模範になって頂きたいと思います。



*8月20日、合同委員長会議(13時～18時 マーチキャビン8名)

出席：小山、高倍、高橋、上浦、漆川、岩崎、横尾、児玉・・・8名役員全員

①尼管との協議の経緯と今後の方針について

水口新副所長の出方は不明だが、尼管側もIYC側も一時のエネルギーは見えない

早急に移動の動きがない中で、現状の泊地が老朽化して行くことの方が深刻になってくる

・・・各会員には安全委員長の配慮事項のように、個人棧橋等の点検補修を怠りなくお願いします

④準会員について

準会員が所属する艇を引き継いで正会員として承認する猶予期間は、適格者と見極めるために6か月以上とする事を明確化しました。

その艇のオーナーであろうが共同オーナーであろうが、または親族であった場合でも準会員でなければ引き継ぎ出来ない事を再確認しました。

⑤安全について

AEDは当面の間、甲子園浜野球場のAEDを必要時に使わせてもらえるように交渉しました、但し営業時間内に限り、こちらの緊急時には制限を受けます。

レスキュー艇に関しては年間活動報告を基に総会で会費免除の承認(規約47条)を問いますが、会費不足の折、免除の可否又は一部免除なども検討課題です。

⑥「委員長会」の位置づけを再確認しました。

・・・規約には会長や副会長の権限について述べていないが、会長・副会長を含めた「委員長会」は相当の権限と決定事項が明記されていることを再認識。

*過去の置ける総会や委員長会の決議事項で規約に関わるような重要事項は、規約の末尾に補足事項として列挙し、次世代の役員にスムーズに引き継げるようにしたいと思います。

⑦運営委員長より

*9月17~18日のクラブ合同クルージングは再び洲本港(岸壁係留)を予定、詳細はbbsで公開します。

*個人栈橋の補修のサンプル

ラムソール/コントレール：海鈴と位置交代したので3者での補修工事となります。

5m x 4本の栈橋は旧西宮浜から持ち込んだ20年以上の物です、天板はボロボロに腐食していて、危険な状態でした。天板を剥がしたらビックリ、鉄骨が腐食して外れていました！

新品に交換するのがベストですが、移動のことも考慮し、台風にも耐えられるように補修することにした。



天板の両端がボロボロに腐食しています。

撮影の直前に作業中のTさんが片足を踏み外してしまいました！（怪我はありませんでしたがポケットに入っていた鍵の束が海中に落ちてしまった）

・・・危険な状態です。

鉄骨は錆び落ちている個所が2つ・・・

補強した上で溶接します。

すでに限界とは思いますが、補強しても何年持つのだろうか！？



4mの足場板をコーナプロで購入して、コーナンのトラックを借りてクラブに搬入、180cmにカット、使用可能な天板は裏返して使います。

概算費用

足場板4m x 31本：1580円 x 31 + 税 = 52900円

垂木（天板を抑える木）4m x 8本：470 x 8 + 税 =

4100円

取り付けボルト+ナット、コースレッド、塗料を合わせると現在約7万円+です、今後、増えるかもしれません！？

3者で分担すれば合理的です。

先端の4本目の栈橋の状態は少し良いので現状のままとする。

***このような栈橋補修に関するノウハウは高橋施設管理委員長へお尋ねください。

*エンジン勉強会

エンジン換装で取り卸された古いヤンマー2GMエンジン2台を提供してもらい、メカ好きのクラブ員が集まって、分解・組み立てを繰り返しながら勉強会を実施しています！



取り合えずバラバラにします！



勉強会には近隣のヨットクラブからも参加しています

エンジンの隅々まで見えますよ！

複数のエンジンから状態の良いパーツを流用して、なんとか再生して復活させたいですね！

今後、エンジンを換装される方は、この勉強会にご提供頂けると大変ありがたいです、宜しくお願いします！

勉強会は露天で実施しているので、暑い8-9月は避けて、10月から再開します。

日程はIYCのbbsにUPしますので、是非ともご参加ください！

メカおたく：児玉&高橋

2016年会報8月号：IYC合同委員長会